＜令和８年度 更新・継続＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体	付知土建株式会社			
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
	○		○	
取組名称	森林整備による森林環境の保全と森林の多面的機能の維持			
取組の区分・状況	継続			
取組開始時期	継続的に実施			
前回からの変更・進展	森林整備を継続するとともに、伐採前後の状況や林業機械による作業状況を写真で記録し、取組の見える化を進めている。			
現在の取組内容	・森林部門において、伐採・木寄せ・集材・造材などの森林整備を実施。 ・スイングヤーダやプロセッサーなどの林業機械を活用し、作業の効率化を図っている。 ・森林整備を通じて、健全な森林の育成と森林の多面的機能の維持に取り組んでいる。			
経　費	森林整備事業に係る人件費、林業機械の使用・維持管理費、燃料費等。			
効果・成果	・森林整備を通じた森林環境の保全。 ・森林のCO_2吸収、水源涵養、土砂災害防止などの機能の維持への貢献。 ・林業機械の活用による作業の効率化。			
課　題	森林整備の継続に必要な人材の確保・育成と、安全な作業体制の維持。取組の効果を分かりやすく伝えるための実績・写真の整理。			
今後の予定・展開	地域の森林整備を継続し、森林環境の保全に取り組む。あわせて、作業の安全性と効率性を高め、施工実績や現場写真を活用した情報発信を進める。			
備考・コメント	地域の森林に携わる企業として、日々の森林整備を通じて、森林資源と森林環境を次世代につなぐ取組を続けていく。			

写真1 森林整備前の状況	
写真2 森林整備後の状況	
写真3 スイングヤーダによる集材	
写真4 プロセッサーによる造材	